

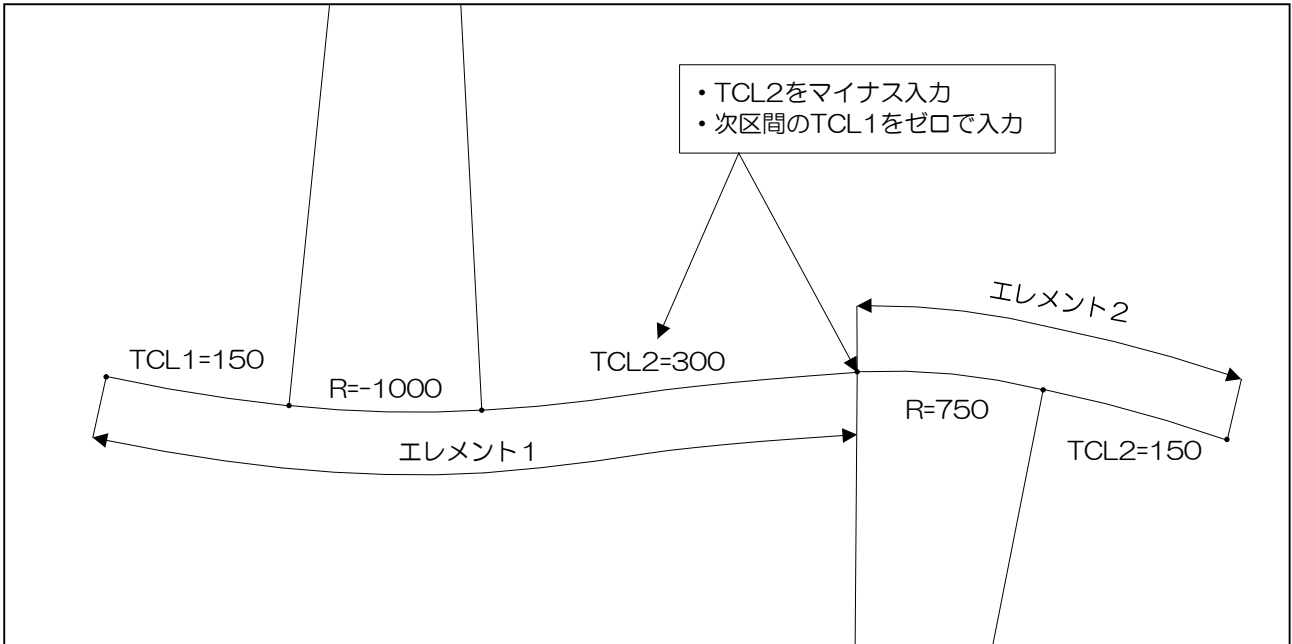
■ 線形関連

Q26: 線形データで鉄道反向曲線の入力を行いたい。

A26: 各入力形式における、鉄道反向曲線の要素入力については以下をご覧ください。
また、鉄道反向曲線は緩和曲線種で「3次放物線」「Sine曲線」を選択した場合に使用できます。

1. エlement固定法

Element固定法での鉄道反向曲線は、緩和曲線長TCL2にマイナス値を入力し、鉄道反向曲線に続く区間のTCL1に0を入力する事で計算できます。



Element 区間番号	緩和曲線長 TCL1	半径 R	緩和曲線長 TCL2
1	150	-1000	-300
2	0	750	150

下記の入力画面は、上図の鉄道反向曲線の入力例です。

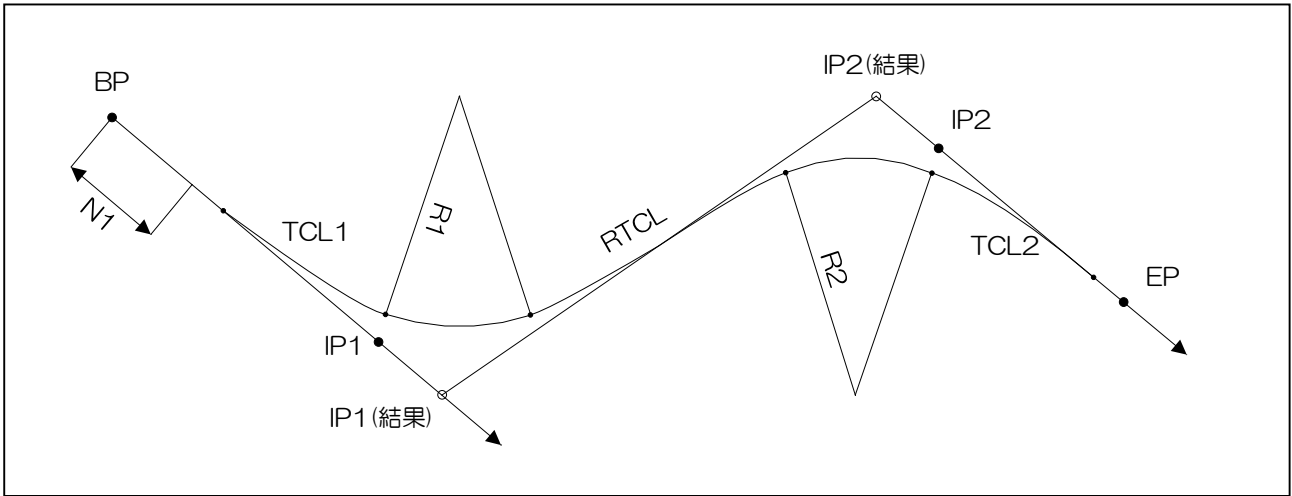
Element 1の入力画面

Element 2の入力画面

■ 線形関連

2. IP法

IP法での鉄道反向曲線は、処理コードで「反向」を選択し、各要素を入力する事で計算できます。



下記の入力画面は、上図のIP区間の入力例です。「反向」を選択しています。

IP区間の入力画面

要素入力 - IP区間:BP→IR1→IR2→EP

← ← → → 反向の処理コードを選択

処理コード

なし 卵型(CL) S型 凸型

基本型 卵型 反相 凸型(R)

R方向反転 線形長を入力する項目 N1

TCL1	150.000000	R1	1000.000000
RTCL	300.000000	R2	750.000000
TCL2	150.000000	N1	10.000000

IP区間の入力画面(APS-RailBIMの場合)

要素入力 - IP区間:BP→IR1→IR2→EP

← ← → → 反向の処理コードを選択

処理コード

なし 複心(CL) S型 全緩和

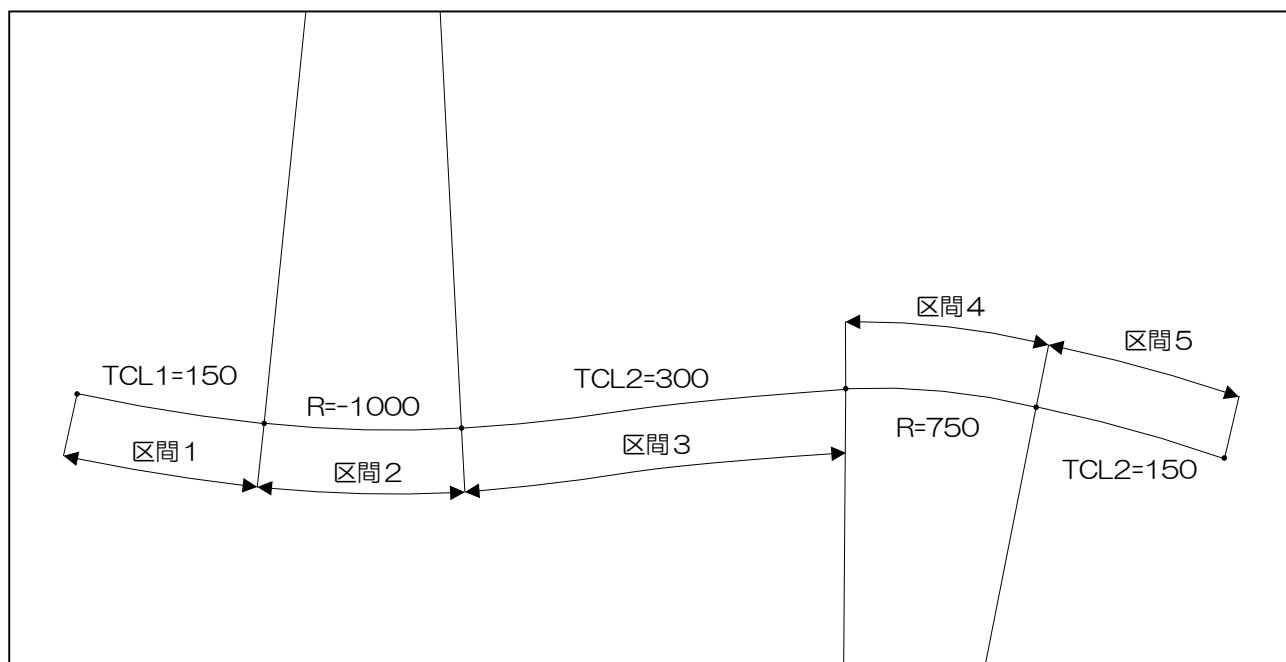
基本型 複心 反相 全緩和(R)

R方向反転 線形長を入力する項目 N1

TCL1	150.000000	R1	1000.000000
RTCL	300.000000	R2	750.000000
TCL2	150.000000	N1	10.000000

3. 片押し法・座標読取法

片押し法・座標読取法での鉄道反向曲線は、線形要素を入力する事で計算できます。



区間番号	要素	始点半径	緩和曲線長	終点半径
1	緩和曲線	0	150	-1000
2	円	-1000	0	-1000
3	緩和曲線	-1000	300	750
4	円	750	0	750
5	緩和曲線	750	150	0